

2017 年度活動報告書

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

<はじめに>

2017 年度は組織基盤の強化に取り組みました。その中でも特に財政基盤の強化に力を入れました。寄付を財源としている市民ファンドでは、財政基盤の不安定感は否めず、ミッション遂行の大きな障壁ともなっています。

基盤強化策のひとつとして、他分野との協働事業やイベント等を通して活動への理解を呼びかけました。子どもファンドの存在を知らない方々も多く、他との協働を強化していく必要性を感じました。

さらにネット募金や企業・団体へ協力支援を仰ぐ等、寄付・会員の獲得にも積極的に取り組んできました。

また、2017 年度には神奈川県が主導する「かながわ子どものみらい応援団」が発足し、子ども未来ファンドも団員として参加しました。内閣府が主導する「子供の未来応援団国民運動」も 2015 年に発足しています。こうした動きに見られるように、「子どもの未来」への社会的関心が高まってきています。この機会を捉え、15 年に亘り蓄積してきた子ども未来ファンドの「子どもの未来」への思いを、今後さらに広く社会へ発信していきます。

下半期は協働事業として、行政・企業・団体等と連携した「いじめストップ」のワールドアクション「ピンクシャツデー2018」の運営を担い、大きな成果をあげることができました。この成果を次年度につないでいきます。

<2017 年度の取り組み>

第三者評価委員会からの提言をもとに策定した「再建計画」に基づき、理事の職務分担制の導入、事務局体制の構築、相互牽制作用等の風土の醸成、安定した運営のために常任理事もしくは常勤職員が必要との改善案を検討し、徐々にではありますが構築しつつあります。

「地域創造（創る）」「架け橋（つなぐ）」「醸成（担い合う）」という神奈川県子ども未来ファンドの 3 つのミッションを軸にした活動では、会員増強、寄付増加を視野に入れた事業に取り組みました。

「かながわの子育ち・子育て応援プロジェクト」と銘打ち、イベントやセミナーを開催しました。

また、「いじめストップ！」をテーマに取り上げたイベントや「ピンクシャツデー2018 in 神奈川」は NHK や tvk のニュース等で繰り返し紹介され、大きな反響がありました。

事業再開に向けて策定した「再建計画」に比し会員数は減少しましたが、活動を幅広く展開した結果、より多くのご寄付や募金につながり、業績を回復することができました。また、2018年度助成事業を実施いたしました。

- * 第三者評価委員会・・・2015年度に発覚した非常勤職員による業務上横領事件を受けて発足した外部識者による調査・検証機関。

<2017年度事業報告>

1. 会員の募集

	2017年度実績	前年度実績	再建計画の目標数値
正会員	86名	81名	180名
準会員	49名(54口)	41口	100口
子ども応援会員	19名(32口)	27名(57口)	60名・組織
法人会員	5社(8口)	2口	7口

(2018年3月末現在)

2. 寄付の募集

- ・ 一般寄付金 円
- ・ 運営基盤を支える寄付金 円

3. NPO 助成事業

(1) 2017年度助成贈呈式・2016年度助成報告会を開催した。

- ・ 日時：2017年6月25日(日) 14時～
- ・ 会場：横浜中央YMCA 8、9階
- ・ 出席者：2017年度助成団体、2016年度助成団体、寄付者、プレゼンター、一般参加者等約100名
- ・ 次第：基調講演(西野博之理事)、助成贈呈式、助成報告会・交流会

(2) 2017年度助成概要

「一般助成」「課題助成/いじめ・貧困・児童虐待防止」の2分野とし、総額100万円(上限20万円)で募集した結果、11件の応募があった。「助成選考委員会」の審議にて、5団体89万円の助成を決定し、理事会決議を経て実施した。

(3) 2017年度助成選考委員

- ・ 委員長 安室 伸一氏 安室商事株式会社 代表取締役
- ・ 委員 高取しづか氏 NPO 法人 JAM ネットワーク代表
- ・ 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉 常務理事
- ・ 委員 山口 明 氏 日産労連 NPO センター「ゆうらいふ21」専務理事
- ・ 委員 藤沖 彩 氏 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員

(4) 2017年度助成団体：5団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額 (円)
山芋の会	一般	<放課後の居場所づくり支援> 子どもの居場所づくり事業	横浜	200,000
街の家族運営委員会	一般	<こどもたちの居場所への支援> 街の家族 子育て応援プロジェクト 拠点の施設改修を行なう事業	横浜	140,000
一般社団法人 ことぶき青少年広場	一般	<青少年支援> ことぶき青少年広場 (居場所事業)	横浜	150,000
ヤングコミュニティ	一般	<青少年支援> 職業体験談フォーラム事業	横浜	200,000
特定非営利活動法人 あすなる	課題	<学習支援と居場所作り> 経済的困窮家庭等の中学卒業後の 子どもの高校継続・高校再入学のため の学習支援と居場所づくり	横浜	200,000

(5) 2018年度助成

2017年度と同様「一般助成」「課題助成/いじめ・貧困・児童虐待防止」の2分野とし、総額100万円上限25万円で募集した結果、15件の応募があった。助成選考委員会の審議にて、7団体109万円の助成が決定された。助成は2018年度に行なう。

①2018年度助成概要

- ・ 募集総額：100万円
- ・ 助成選考委員会：開催日/2018年3月30日（木）場所/県民センター 11階
- ・ 募集期間：2017年12月～2018年1月25日
- ・ 応募総数：15件（前回比+4）
- ・ 助成総額：1,090,000円（2018年度予算で執行）
- ・ 応募総額：2,972,000円（前回比+882,000円）
- ・ 助成団体：7団体

②2018年度助成選考委員

- ・ 委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社 代表取締役社長
- ・ 委員 高取しづか氏 NPO 法人 JAM ネットワーク代表
- ・ 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉 常務理事
- ・ 委員 山口 明 氏 日産労連 NPO センター「ゆうらいふ21」専務理事
- ・ 委員 藤沖 彩 氏 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員

③助成団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額 (円)
NPO 法人 ひだまりの森	一般	<親子の孤立を防ぐ事業> 相談から社会参画へ。事業部の設置 冊子「相談者からの声」作成事業	横浜	150,000
おっち一塾	一般	<地域で困っている子どもを支える事業> 地域ボランティアによる不登校児童・生徒 への学習支援とコミュニケーション支援	横浜	200,000
街の家族運営委員会	一般	<子育て応援を地域に展開する事業> 地域の資源やつながりを活用した子育て家 族と地域の交流を支援する事業	横浜	120,000
一般社団法人 ことぶき青少年広場	一般	<青少年広場居場所事業> 居場所を活用し、子ども若者の生活・成長 をサポートする寄り添い型支援事業	横浜	120,000
一般社団法人 ここから未来	課題	<いじめ再発防止への情報発信事業> 子どもの生命や人権を守り、環境改善の 解決策を提案するブックレットの発行事業	横浜	150,000
フォスター	課題	<里親など家庭養護を促進する事業> 里親やファミリーホーム、養子縁組家庭を 写真展やトークイベントで紹介する事業	横浜	150,000
てとてと	課題	<困難を抱える家庭のための居場所事業> 食事の提供や各種講座とソーシャルワーク による支援を取り入れた居場所事業	相模原	200,000

4. 協働事業

(1) 「ピンクシャツデー2018 in 神奈川」の運営

カナダからスタートした「いじめストップ！」ピンクシャツデー・キャンペーンの活動を通して、子どもや若者が生きる喜びと未来への希望を育む神奈川になることを願い、活動の運営を担った。

2月最終水曜日開催のイベントには多くの方々にご参加いただき、子どもたちの思いを共有することができた。当日の様子は、行政・企業・団体・NPOが協力して創り上げた神奈川モデルとしてNHKやtvkのニュース報道でも複数回取り上げられ、全国に発信された。

反響の大きさに驚くとともに活動の意義深さに思いを新たにしたい。横浜が子どもたちの健やかな育ちを見守る街となるように、本活動を今後も継続していく。

①取り組みの概要

- ・ 2月をピンクシャツデー月間とし、2月28日(水)にキャンペーンイベントを開催。
- ・ メッセージツールの作製。
- ・ チラシ(30,000枚)、ポスター(3,000枚)を作製し、公共の場へ貼付。

- ・ 県内の小中高校（公立、私立）と特別支援校へ発送。
- ②ピンクシャツデー取り組みへの理解と協力要請。
 - ・ 協力・協賛として 26 の企業・団体と個人、後援として 32 の企業・団体が参加し、いじめストップ！への思いを共有した。
 - ・ ピンクシャツ、ピンク T シャツの協賛販売。
- ③キャンペーンイベント
 - ・ 日時：2018年2月28日（水）13時～18時
 - ・ 場所：新都市プラザ催事スペース（横浜駅東口そごう前広場）
 - ・ 内容：アコースティックデュオ N.U.によるコンサート／声優によるミニ朗読劇『ハッピーバースデー』／NPO法人「ここから未来」・・・いじめ自死の中高生の11通の遺書を朗読／横浜市立領家中学校吹奏楽部&生徒会の演奏とメッセージ／神奈川県キャラクター、かながわキンタローの着ぐるみパフォーマンス等。
 - ・ パネル展・・・横浜市中学生人権作文コンクール入賞作品等の掲示。
 - ・ ピンクシャツを着用した個人、団体、企業等のパネル展示。
 - ・ フォトジャーナリスト長谷川美祈さんに撮影依頼。
- ④ピンクシャツデーナイト
 - ・ 八景島シーパラダイス大水槽、横浜マリントワー、コスモワールド観覧車のライトアップ。
- ⑤ユーチューブ動画の制作発信

(2) かながわ子どものみらい応援団への参加

発足記念イベントで神奈川県子ども未来ファンドの事例を発表した。

- ・ 日時：平成30年2月7日（水）14時～17時
- ・ 場所：ラジアントホール
- ・ 主催：神奈川県

(3) 「みんなで知ろう 小児がんのこと！」共催。

- ・ 日時：平成30年2月17日（土）12時～16時
- ・ 場所：横浜駅東口地下そごう前新都市プラザ 催事スペース
- ・ 主催：神奈川県立こども医療センター 小児がんセンター

4. 啓発事業

(1)かながわの子育ち・子育て応援プロジェクト「つなぎ、広げる応援の輪」を開催。

「いじめストップ！」を掲げ、NHK ニュース等に取り上げられた。子どもの抱える困難を知らせると共にN.Uをはじめとするアーティストの方々の協力を得て、貴重な広報・啓発活動の場となった。

- ・ 開催日時：2018年8月12日（土）11時～15時
- ・ 開催場所：横浜駅東口 新都市プラザ 催事スペース
- ・ 参加者数：約 2,300名

(2) 子どもファンド・セミナー「地域で子どもを見守り、育てるために」を開催。

公益財団法人横浜 YMCA との共催で 3 回に亘り開催。ナビゲーターは 3 回共に当ファンドの初代理事長である西野博之理事が担当した。毎回定員を超える応募があり、子どもの課題への関心の高まりがうかがえた。参加総数 (150 名)

<第1回> 9月 3日 (日) いじめの深層

講師：篠原宏明氏 北村年子氏

<第2回> 10月15日 (日) 子どもの貧困

講師：山内深佐子氏 山崎美貴子氏

<第3回> 11月19日 (日) SOSを受け止めよう

講師：杉山春氏 長谷川美祈氏

(3) 講演会や委員会への参加・協力

2017年度に引き続き、「神奈川県子ども・子育て支援推進協議会」等の会議へ参加するとともに、講師依頼や各種委員会にも対応した。

①各種審議会・委員会

- ・ 神奈川県子ども・子育て支援推進協議会 (吉富多美理事)
- ・ 神奈川県バリアフリーの街づくり推進県民会議 (吉富多美理事)
- ・ 神奈川運輸支局バリアフリーネットワーク会議 (国土交通省関東運輸局・吉富多美理事)
- ・ 横浜市ボランティアセンター運営委員 (小澤貞一理事)

5. 広報事業

(1) 新聞等

啓発事業「かながわの子育ち・子育て応援プロジェクト」記事掲載

「2016年度助成贈呈式・報告会」毎日新聞神奈川版

「ピンクシャツデー2018 神奈川」読売新聞神奈川版他

(2) テレビ等

「いじめストップ！」 8月12日 NHK ニュース枠で2回放映された。

「ピンクシャツデー2018 in かながわ」NHK ニュース枠で8回、tvk ニュース枠で2回放映された。

(3) NPO データベースの運営

子ども、子育ての貢献活動を行う企業等と NPO の連携促進を目的とする「神奈川県の子ども・若者・子育て支援 NPO データベース」の管理・運営に努めた。

- ・ データベース「子どもの居場所情報箱」

<https://www.kodomofund.com/search/index.html>

- ・ データベース「神奈川の子ども・若者・子育て支援 NPO データベース」

https://kodomofund.com/search/kensaku_index.htm

(4) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信。

①年2回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを発信した。また、ブログやツイッター、フェイスブックを活用した日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めた。

- ・ メールマガジン 月刊 計12回発行
- ・ 広報紙「ハンズ to ハンズ」40号 (3,000部)、41号 (3,000部) を発行
- ・ ブログ <http://blog.canpan.info/kodomofund/>
- ・ ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>
- ・ フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomofund>

(5) WEB サイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

子ども・若者や子育ての支援を行う NPO の活動情報、各種非営利イベント情報、NPO を対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めた。

(6) ネットワーク事業（展示・広報・出店等）

①かながわ中央メーデー

- ・ 開催日程：2017年4月29日（祝）
- ・ 会場：臨港パーク
- ・ 参加内容：飲料販売

②ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル vol.7

- ・ 開催日程：2017年10月1日（日）
- ・ 場所：山下公園（横浜市中区）
- ・ 参加内容：Song for smile フラッグの作成、ステッカーの販売、活動紹介、飲料販売、オレンジハート風船募金
- ・ 主催：YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 実行委員会

③モトスミ・ブレーメン通り商店街 フライマルクト

- ・ 開催日程：2017年10月1日（日）
- ・ 会場：モトスミ・ブレーメン通り商店街（川崎市中原区）
- ・ 参加内容：商店街振興組合ブースでの物販の手伝い
- ・ 主催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合
- ・ 協力：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会

④第26回ダンボふれあいバザー

- ・ 開催日程：2017年11月23日（祝）
- ・ 会場：地域作業所ダンボ周辺（横浜市保土ヶ谷区和田町）
- ・ 参加内容：飲料販売等
- ・ 主催：地域作業所ダンボ・福祉を考える会

⑤特命子ども地域アクターの受け入れ

- ・ 小中高生8名が子どもファンドのイベントに参加し、活動のPRを担った。

*神奈川県事業でまちづくりに関心がある県内在住・在学の小学校高学年から高校3年生の子どもたちを公募して任命。

6. 組織運営

(1) 運営改善の取り組み

①役員体制の強化

- ・ 理事の増員 1名増員
- ・ 監事の業務執行体制の強化
監事2名体制を確立した
中間監査 2017年11月15日
本監査 2018年 5月14日

②事務局体制の強化

- ・ 常勤事務局員は財政的理由で置くことが出来なかったが、理事、運営委員のボランティアな活動で事務局運営を支え、補完した。
- ・ 理事が担当業務を執行することで補完した。
- ・ 出納事務手続きを確実に実施した。

(2) 通常総会、臨時総会、理事会、運営委員会の開催

各種事業の円滑実施のために通常総会、理事会、監査、運営委員会を開催。

①通常総会

日時：2017年5月29日（月）19時15分～20時30分
場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ
議題：2016年度事業報告、2016年度収支計算書、2017年度事業計画、2017年度収予算書、役員を選任および監事を選任について、

②理事会（7回）

・ 第1回理事会

日時：2017年4月13日（金）19時～21時
場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ
議題：①2016年決算見込について ②2017年度事業計画等について他

・ 第2回理事会

日時：2017年5月22日（月）19時～21時
場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ
議題：①活動報告書について ②決算書について他

・ 第3回理事会

日時：2017年7月25日（金）18時30分～
場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ
議題：①第一四半期の事業の進捗状況について

・ 第4回理事会

日時：2017年11月7日（木）19時00分～21時00分
場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ

議題：①上半期収支状況について ②かながわの子育ち・子育て応援プロジェクトについて

・ 第5回理事会

日時：2017年12月21日（木）18時～19時

場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ

議題：①ピンクシャツデーについて ②中間監査について

・ 第6回理事会

日時：2018年1月30日（水）19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナーシップルーム

議題：①ピンクシャツデーについて ②次年度の理事・監事について他

・ 第7回理事会

日時：2017年2月24日（木）18時～20時

場所：かながわ県民活動サポートセンター パートナーシップルーム

議題：①ピンクシャツデーについて ②収支状況について 他

③監査

○中間監査

・ 日時 2017年11月15日（火）19時～20時30分

・ 内容 2017年度事業対象

・ 出席 監事 細野監事、渡辺監事、理事長、総務担当理事3名

○本監査

・ 日時 2018年5月14日（月）18時50分～20時30分

・ 場所 ワールドポーターズ 6階

・ 内容 2017年度事業対象

・ 出席 細野監事、渡辺監事、理事長、総務担当理事2名

④運営委員会（12回）毎月第3木曜日に実施

2017年4月20日（木）、5月16日（木）、6月15日（木）、7月20日（木）、
8月24日（木）、9月21日（木）、10月19日（木）、11月16日（木）、12月
19日（木）、2018年1月25日（木）、2月15日（木）、3月15日（木）

⑤その他の運営事項

○ボランティアの受入れ等

若者の社会体験の機会としての一面と当ファンド事務局の発送作業や資料印刷などの実務作業への協力、さらにはイベントへの企業・団体からの参加協力を得られた。